



来年度から新学習指導要領全面実施（その1）

「学習指導要領」とは、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。これを指針として、各学校は授業を行い、教科書や時間割も作られています。学習指導要領は、およそ10年ごとに改訂が行われており、小学校は本年度から、中学校では移行期間を経て、令和3年度から全面実施となります。

そこで今回は、新学習指導要領について、簡単にお知らせしたいと思います。

【なぜ改定するのか】

学校教育は、子どもたちが社会に羽ばたくための土台作りの場です。そのため、グローバル化や急速な情報化、技術革新など、社会の変化を見据えて、子供たちがこれから生きていくために必要な資質や能力について見直しを行う必要があります。

【どのような力を育てるのか】

今回の改訂では、「生きる力」を子どもたちに育むために、「何のために学ぶのか」という各教科等の学ぶ意義を共有しながら、授業の創意工夫や教材の工夫・改善を進めていくことができるように、全ての教科等の目標及び内容を三つの柱に整理しました。

※来年度から**通知表も、この三つの柱に基づいてすべての教科の評価を行う**ことになります。

- 実際の社会や生活で生きて働く「**知識や技能**」
- 未知の状況にも対応できる「**思考力、判断力、表現力など**」
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする「**学びに向かう力、人間性など**」

【学びはどう変わるのか】

主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から「何を学ぶか」だけでなく「**どのように学ぶか**」も重視して授業を改善します。

- 一つ一つの知識がつながり、「わかった！」「おもしろい」と思える授業に
- 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に
- 見通しを持って、粘り強く取り組む力が身につく授業に
- 自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

荻崎中学校では、既に平成30年度からこの視点を取り入れ「**主体的・協働的な学び**」として取り組んでいます。

※さらに詳しく知りたい方は、文部科学省のホームページを参考にしてください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm



文科省 HP の
QR コード

1学期終業式・2学期始業式を実施しました

コロナ禍で何かと慌ただしかった1学期が終了し、いよいよ2学期が始まりました。終業式・始業式は、まだ全校生徒が一堂に集まることができないため、Zoom 配信での実施でしたが、表彰や友だちの発表に対して自然に拍手が起こるなど、どのクラスも良い雰囲気と真剣な態度で臨むことができました。

終業式では7年生と生徒会から、始業式では8年生と9年生から代表生徒の振り返りと抱負の発表があり、どの生徒からも、気持ちを新たに2学期の生活を頑張っていこうという強い意思が伝わってきました。

また、校長先生からは、終業式の中では「分からないことをそのままにせず、『教えて、助けて』と言える生徒になってほしい」、始業式の中では「しっかり睡眠時間を取ってほしい、頑張った自分を褒めてほしい」との話がありました。荻崎中学校では「学力と自己肯定感の向上」が毎年の課題となっています。人との比較ではなく、過去の自分に比べて一歩でも前進できるように、謙虚な心と向上心を忘れず努力を続けていって欲しいと思います。

